

平群

Heguri



≡ 議会だより

12月定例会 No.234
平成24年2月1日

発行：奈良県平群町議会

第6回定例会（12月）

こんなことが決まりました

議決結果賛否一覧 3

質疑あれこれ 4～5

文教厚生委員会委員長報告 6～7

議会報告会・議会懇談会 8～9

町政を問う！ 一般質問 10～15



平群町消防出初め式に参加した幼年消防クラブの幼稚園児

身近な議会を



議長 下中 一郎

今、多くの人にとって一番身近な議会は何かと聞けば、おそらく国会ですという答えが最も多くなるのではないでしょう。

重要な審議はテレビで生中継されるし、テレビ、新聞の日々のニュースの中でも、何についてどのような審議が行われているかよく報道され、いま何が論議の的になっていくかということもよく伝わってきます。

それに比べて、各自治体の議会についてはなかなか知る機会が少ないという人が多い

ように思われます。

地方局のテレビや地域のケーブルテレビなどの放映や、インターネットによる議会中継も少しずつであるが広まりつつあります。

私たち平群町議会も、より住民の方に開かれた議会、身近な議会として、その活動内容を知らすべく取り組みを始めていくと信じています。とりわけ、先行して一昨年より開催しております議会報告会、議会懇談会を通じて、直接皆様にお会いし、説明責任を果たすと共に、生の声をお

聞きし、行政側への要望と共に、各議員が何かを学び取り、それを糧として自己研鑽に励み、政策立案能力を高めていくべく努力をしているところであります。

特に報告会に臨み、議員の緊張感と真剣さが、来場される方に少しでも伝わるような報告会になるよう、今後とも心がけていく所存であります。

地方の時代といわれて久しくなりますが、本格的な地方分権社会を迎え、自分達の町は自分達でつくり、守っていく強い意識のもとで、町・議会・住民の三者の力を合わせてこそ、はじめて協働のまちづくりとなると確信しています。

最後になりますが、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私のメッセージとさせていただきます。

寒中お見舞い
申し上げます

議長 下中 一郎

副議長 山田 仁樹

議員 井戸 太郎

〃 戎井 政弘

〃 奥田 幸男

〃 森田 勝

〃 植田 いずみ

〃 山口 昌亮

〃 高幣 幸生

〃 窪 和子

〃 繁田 智子

〃 馬本 隆夫



第6回定例会こんなことが決まりました

第6回定例会は12月6日招集され11日間の会期で開催されました。

初日は、町長提出の議案9件、請願2件が上程され、審議の結果、内8件が即日議決しました。

国民健康保険税条例の一部改正1件、請願2件は、文教厚生委員会に付託され、翌日議案の審査を行いました。

13日に9名、14日に2名の11議員が一般質問を行いました。

最終日には、文教厚生委員会の審査結果の委員長報告を受け、報告のとおり原案可決しました。

請願については、財政面を考慮して出来る部分から、鋭意取り組んでいただきたいということ要望して趣旨採択とした意見が出ました。趣旨採択することは賛成少数で否決され、請願2件は、賛成多数で採択されました。

議員より意見書5件の発議の提出があり審議の結果、意見書3件は全会一致で可決、1件は賛成多数で可決、1件は賛成少数で否決となり、付議された議案を全て議決し閉会しました。

議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提出議案	平群町暴力団排除条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町営住宅明渡請求等に関する訴えの提起について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	安心して子どもを産み育てられる環境づくりを求める請願書	採 択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
	子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願書	採 択	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
議員提出議案	鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	暮らし・農業・医療を破壊するT P P（環太平洋連携協定）参加に反対する意見書	原案可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	●	
	政党助成金を廃止して東日本大震災被災者救援に使うことを求める意見書	否 決	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	

議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

12月議会に上程された議案の中から主な質疑応答について報告します

一般会計補正予算（第4号）

1327万1千円追加
歳入歳出予算総額72億695万円

成年後見人制度の利用

質問 成年後見人制度の利用事業の実施に伴い12万8千円の予算措置がされたが、今迄の申請件数はどうか。この事業を住民にもっと周知をすべきでは。

答弁 平成22年6月議会で要綱を制定し、22年は2名の申請があり、今回は1名の申請である。住民にも幅広く広報などで定期的に周知をしたい。

町外保育委託料の増加

質問 535万8千円の増額補正がされたのはなぜか。

答弁 当初予算では15人の予算措置をしたが、今回9名分の増額補正し、町外保育は24名となる。保護者の就労等により町外保育が増加した。

土地開発公社の委託料

質問 土地開発公社の解散に向けた取り組みの一環として、公社保有地の鑑定委託料307万1千円の予算措置をしているが、具体的な物件は。また、今年度中に実際の評価額が明らかになるのか。

答弁 物件は簿価で約19億円の公社用地であるが、主には公園墓地・駅前事業用地を中心にその他道路事業用地等である。今年度中を指して、評価額を出していきたい。

廃プラのステーション収集

平成24年4月から廃プラの全町ステーション収集を実施するにあたり、緊急雇用創出事業を活用して、ごみの再資源化の実施に係る予算措置である。

質問 平成24年1月からモデル地区を設定しステーション収集

を始め、4月から全町で実施されるが短期間で周知徹底できるのか。

答弁 1月には、全自治会長に全町収集に向けた取り組みを説明していく。モデル地区としては、若葉台自治会にご協力を頂き検証したい。短い期間であるが、今迄拠点収集で実施をしてきており、全町ステーション収集に向け、さらに住民に周知をしたい。

ごみは分別して決められた日に出しましょう



国民健康保険税条例の一部改正

平成24年度の税率と限度額の改正がされる。

質問 今回の条例改正による内容と限度額の引き上げで増税になる世帯数は。

答弁 世帯数は、平成23年度の課税実績で試算して医療分で83世帯、支援金分で70世帯、介護分で19世帯が該当となる。

		所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	限度額 (円)
医療分 0歳～74歳	現行	7.3	28,000	32,000	470,000
	改正後	6.95	27,000	27,000	510,000
支援金分 0歳～74歳	現行	1.7	7,500	8,500	120,000
	改正後	改正なし	改正なし	7,500	140,000
介護分 40歳～64歳	現行	0.9	5,000	5,000	80,000
	改正後	1.25	6,000	改正なし	120,000

質問 平成22年度の平群町の基金は6千万円であるが、基金の県下の現状は。

答弁 県内の30市町村が基金を持ち、1億円以上の基金があるところは、11市町村である。

町暴力団排除条例の制定

この条例は、町及び町民等の責務を明らかにするとともに、暴力団排除に関する具体的施策を定めることにより、町民の安全で平穏な生活を確保し、事業活動の健全な発展に寄与しようとするもので、平成24年4月1日から施行される。

【基本理念】暴力団の排除は、町民等が、暴力団が町内の事業活動又は町民の生活に不当な影響を与える存在であることを社会全体として認識した上で、暴力団を利用しないこと、暴力団を恐れないこと、暴力団に対して資金を提供しないこと及び暴力団と交際しないことを基本として、町、町民等と関係団体並びに県が相互に連携し、及び協力して推進されなければならない。

この条例内容は、近隣7町と協議し歩調を合わせて進めてきた。(条例は、町の公式ホームページにも掲載)

質問 罰則規定はあるのか。

答弁 近隣町と共に歩調を合わせて町条例では罰則規定はないが、県条例では、罰則規定はある。

この町条例の第8条には、町が設置した公の施設の使用が暴力団の活動を助長し、又は暴力団の運営に資することとなるものであると認めるときは、当該公の施設の使用の許可をしないことができる。

質問 この条例の施行目的を知らせるため、町民への啓蒙が必要では。

答弁 暴力団排除の機運が社会の中で高まっている中で、この条例を、可能な限り啓発していきたい。

一般職員の給与に関する条例の一部改正

平成23年9月30日の人事院勧告に伴い給与月額の見直しを行う条例の一部改正。

質問 職員一人当たり平均の影響額と町全体の減額総額は。

答弁 職員平均一人当たり、年間1万5千円程度であり、1月から3月まで町全体の影響額は58万円程度の減額である。

下水道事業特別会計補正予算(第1号)

下水道建設費で、工事請負費の減額及び測量設計等委託料の増額を行いその結果、10万6千円の減額補正で、歳入歳出予算総額は9億8569万4千円となる。

質問 公共下水道事業で1550万円の委託料が増額されたが場所はどこか。

答弁 上庄の企業誘致の予定地と緑ヶ丘地区である。

介護保険特別会計補正予算(第3号)

132万2千円の増額補正で歳入歳出予算総額は12億1589万5千円となる。

質問 介護予防サービスとして住宅改修費が、給付見込みに伴

い増額補正されるが、利用件数はどうか。また、受領委任払い制度(左枠に詳しい説明)の活用率はどうか。町民への周知が足りないのではないか。

答弁 平成22年度は95件で、平成23年度の現時点で77件の利用である。

受領委任払い制度の活用率は平成22年度で39%、本年度は41%である。制度をさらに周知したい。

町営住宅の不法占拠者を相手に町営住宅明渡請求、滞納家賃請求並びに損害賠償請求に関する訴えを提起するため議会の議決を求めた。

町営住宅明渡請求等に関する訴えの提起

質問 家賃の滞納額及び損害賠償額は。

答弁 滞納家賃額は約210万円、賃料相当損害金は35万円である。

住宅改修費・受領委任払い制度とは

平群町では介護保険要介護(支援)認定を受けている方が、住宅改修を行う際の負担を軽減するため、支払いを1割負担で済むように「受領委任払制度」を行っています。残りの9割は利用者の委任に基づき、平群町から受領委任払制度取扱事業者に直接支払います。

介護保険住宅改修を実施するには事前にケアマネージャー、住宅改修施工業者に相談の上ご利用ください。

※住宅改修支給の上限額は20万円です。



【詳しいお問い合わせ】 役場福祉課45-5872(直通)

文教厚生委員長 報告

去る12月6日平群町議会第6回定例会本会議で、当委員会に付託を受けた議案並びに請願の審査結果を順次報告します。

議案第55号 平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

質疑では、今回の税率改正で平均1人当たり、また1世帯当たりどれだけの減額になるのかと質され、1人当たり2900円、1世帯当たり5300円程度の減額になるとの答弁でした。

今後基金をどのようにしようと考えているのかと質され、国民健康保険財政を安定的に運用していかなければならない。金額でいうのは非常に難しい。過去に予算総額の5%程度を一つの基準として示されたことがあり、ある程度の目安としているとの答弁でした。

限度額の改正による対応等について質され、医療分について、

夫婦2人世帯で、課税所得650万3千円、介護分で857万円、支援金分で724万2千円以上が対象で、広報や7月の納税通知書を発送する際、重点的にPRをする等の答弁でした。

23年度予算で1千万円の歳入欠陥が出ると試算していたが、資産割を廃止しても黒字になる見通しとなっている。予算編成上の問題を質され、これまで決算に見合った予算になっていない点は反省しなければならぬが、医療費の増高の予測は非常に難しいものがある。決算で乖離が出ないような予算編成をしていきたい旨の答弁でした。

今回の改正で世帯割が引き下げられた理由等今後の傾向について質され、世帯平均の人数は1.7から1.8人程度、高齢世帯が増えていく傾向にある旨の答弁でした。

中間層や低所得者層の負担軽減のための限度額改正だが、この間改定をしなかった理由を質され、財政状況や色々な事を勘案し、行つてこなかったとの答弁でした。

医療費を下げる具体的な対策

について質され、1人当たりの医療費は県下で15番目と平均より高い状況であり、特定健診の目標に対して、現在半分ぐらいの達成に留まっている。目標に近づける必要があると思つている。努力していきたい旨の答弁でした。

採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決定しました。

請願第5号 安心して子どもを産み育てられる環境づくりを求める請願書

質疑では、拡充にともなう財源について質され、通常の年で小学校卒業まで入院・通院合わせてプラス2600万円、中学校卒業までだとプラス4000万円ほど必要である旨の答弁がありました。

請願者の思いを聞く旨の質問に、

請願者より子育て中のお母さんたちにとって医療費が経済的に大きな負担となっているため、医療費助成制度の拡充や子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌の予防ワクチン、妊産婦健診の公費助成の継続で、子どもを産み育てやすい町づくりのために採択

をお願いしたい旨の発言がありました。

採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決定しました。

請願第6号 子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願書

質疑では、紹介議員に財源の確保の点から、減っている人口をもとに戻すことが一番で腹案があるのかとの質問に、今回の請願は財源のこともあるが、基本的に一番の思いは子どもを育てやすい環境にして欲しい。昨今の社会情勢の中で若い人たちに非正規雇用が多く、それは収入が少ないことにもつながり、病院にかかるのも躊躇する。年間60億から70億円の財政から子ども達のために使う2600万円は決して多くはない。人口増も含め、様々な努力をしていくことで、出来るかと考えているとの答弁がありました。

採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決定しました。

以上が、当委員会に付託を受けた議案並びに請願の審査結果であります。

委員長 植田 いずみ

議員提出議案

鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 奥田 幸男
// 高幣 幸生

(原案可決)

国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

提出者 窪 和子
賛成者 奥田 幸男
// 高幣 幸生

(原案可決)

「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書

提出者 植田いずみ
賛成者 山口 昌亮

(原案可決)

請 願 文 書 表

子どもの医療費助成制度の拡充を求める
請願書

受理番号 第6号
受理年月日 平成23年11月21日

要 旨

子どもの医療費助成制度（無料化）を早急に
小学校卒業まで拡充すること

理 由

若い子育て世帯は、安心して子育て出来る支
援制度の充実を願っています。

その中でも、とくに要望の強いのが、子ども
の医療費助成制度の拡充です。

県下（39市町村）の半数にあたる20市町村
で、県基準（就学前の医療費無料化）に上乗せ
した独自の医療費助成制度の拡充がおこなわれ
ています。直近では、奈良市（通院：小卒・入
院：中卒）と吉野町（通院・入院ともに中卒）
が今年の8月から上乗せを実施しています。県
内では中学校卒業までの医療費無料化を実施し
ている自治体が多くみられます。

平群の自然のなかで、安心して子育て出来る
環境整備の一つとして、平群町でも中学校卒業
までの医療費助成制度（無料化）を目指しつつ、
当面早急に小学校卒業まで子どもの医療費助成
制度を拡充することが必要なことから。

請願者の住所及び氏名

平群町初香台1-2-10
島 晴美
平群町春日丘1-3-11-1
神谷 泰子
平群町西宮3-14-44-1
宮本 愛

紹介議員 山口 昌亮・植田いずみ
付託委員会 文教厚生委員会

請 願 文 書 表

安心して子どもを産み育てられる環境づくりを求める
請願書

受理番号 第5号
受理年月日 平成23年11月14日

要 旨

- (1) 現行の子どもの医療費助成制度の対象年齢を入院・
通院とも、まず小学校卒業までに拡充され、さらに将
来に向けて中学校卒業まで拡充されたい。また、病院
窓口を無料化にする現物給付方式を採用するため県に
強く要請されたい。
- (2) 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの公費助
成を来年度以降も継続をされたい。
- (3) 妊婦健診（14回分）の公費助成を来年度以降も継続
をされたい。

理 由

急速な少子高齢化の中、子どもを産み育てやすい環境を
整えることは、現代社会の喫緊の課題であります。特に子
どもは思わぬ怪我や入院等でそれにかかる医療費は突発的
に発生し、子育て世代にとっては大きな負担となります。

現在、平群町では乳幼児医療費助成の対象年齢は就学前
まで実施されておりますが、県内市町村では平成23年8
月現在で、対象年齢を拡充している自治体が半数を超えて
おり、地域格差の拡大がいなめません。

また、ワクチン接種等の公費助成については、9月29
日の参院予算委員会で、公明党の松あきら副代表が来年度
以降の方針を示すよう求めたのに対して、野田総理と小宮
山厚生労働大臣が「来年度以降も継続する方向」と述べま
した。

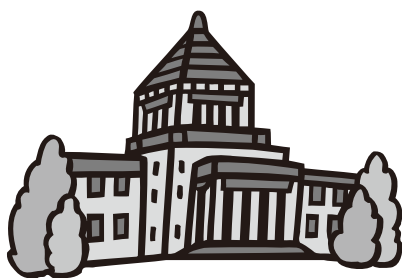
さて、町の財政は住民の皆さんと町のご尽力により7年
ぶりに赤字団体を脱却できましたが、今後も予断を許さな
いことは理解しております。

平群町の将来を担う子ども達健康を守ることを最優先に
とらえて頂き、安心して子どもを産み育てられる環境をつ
くるため、子育て支援の充実を求める3項目を実施される
よう求めます。

請願者の住所及び氏名

平群町三里139-2
福田 恵子

紹介議員 窪 和子・高幣 幸生・奥田 幸男
付託委員会 文教厚生委員会



平成23年中に平群町議会から国会や関係
行政庁に提出した意見書は9件でした。

(否
決)

政党助成金を廃止して東日本
大震災被災者救援に使うこと
を求める意見書

提出者 山口 昌亮
賛成者 植田いずみ

(原案可決)

提出者 山口 昌亮
賛成者 植田いずみ

暮らし・農業・医療を破壊す
るTPP（環太平洋連携協定）
参加に反対する意見書

平群町議会 議会報告会を開催

平成23年11月20日(日)午後2時から、中央公民館大ホールで、「第2回平群町議会報告会」を開催しました。休日の午後にもかかわらず、多数の皆様にお集まり頂きありがとうございました。

はじめに、下中一郎議長から開会の挨拶があり、続いて本年度は左記の4項目にわたって報告をいたしました。

・平成22年度決算審査（一般会計、特別会計）について

報告者 決算審査特別委員会
委員長 山口 昌亮

・平成23年度一般会計補正予算（第3号）について

報告者 総務建設委員会
委員長 高幣 幸生

・小学校再編問題について

報告者 文教厚生委員会
委員長 植田いずみ

・コミバスの実証運行について

報告者 公共交通対策特別委員会
委員長 戎井 政弘

今回は昨年の反省から、各報告者がパワーポイントを使って見やすい、わかりやすい資料の作成に心がけました。

質疑応答の主な内容は

決算審査について

質問

22年度決算について、黒字になったのは不用額や交付金の増額によるものという説明であったが、固定資産税率の引き上げなど住民の協力があって黒字になったということも大事。

答弁

黒字の要因は、固定資産税の税率アップにより約1億円、交付税が約1億円増額になったことと理解している。

補正予算（第3号）について

質問

6月定例会では、東小学校北側の用地購入費、8500万円が否決されたが、1カ月半で可決したのは不愉快である。

答弁

6月に否決になったのはアクションプランの実行ということによるものでした。9月では再編とは離れて学校の整備という

ことでの提案だったので、可決となりました。

小学校再編問題について

質問

先日の議会懇談会は議会基本条例に基づいて開催されたはずですが、南小学校176名を「民意」と言って議会は採択し、反面「求める会」の2300は審議もせずに、請願代表者には質問しなかった。

答弁

筆数の多い少ないによって可否が決まるわけではない。それぞれの議員がこの問題についてしっかりと考え判断して態度を表明する。

議員は、住民の代表であると自覚して何事もやっています。

下水道事業特別会計に

関連して

質問

竜田川団地の下水道工事をやってもらっている。第4工区は4年がかりであると説明されていた。下水道工事はどこが進めているのか。

議会懇談会

平成23年10月28日(金)午前9時半から、小学校再編成の早期実現を求める会の小林代表他23名の方々と議員全員による懇談会を開催しました。

懇談内容は、「小学校再編成の早期実現を求める請願書」に関する9月議会の対応についてを議題として行われました。





宮前 吉男 氏
住所 平群町福貴

固定資産評価審査委員会
委員の選任に同意を求め
るようについで

同意

宮前吉男氏を固定資産評価審査委員会委員
に選任することを全会一致で同意しました。

生駒郡選奨式で表彰



森田 勝 議員

平成23年度 生駒郡選
奨式が11月8日安堵町で
開催され、平群町議会か
ら森田議員が一般表彰を
授与されました。



答弁

流域下水道と公共下水道があ
り、幹線の流域は県の事業です
幹線から出た枝管の工事は町の
工事で、国から補助金を得て工
事をしている。

このほか質疑ではありません
が、次のようなご意見も頂きま
したので、ご紹介いたします。
以前は東大阪に住んでいて、
最近引っ越してきました。議員
が全員で直接住民と話し合っ
とは素晴らしいと思います。
3校を統合して9億円かけ

で、というアクションプ
ランは非常に残念です。
中間発表の後、説明もな
く納得できないまま、ア
クションプランが出て
きて、東小学校ありきで
す。

予定の時間をオーバー
する程、皆様から熱心な
ご意見を頂きました。
最後に山田副議長がお
礼のあいさつをし、終了
しました。

議会報告会アンケート結果

参加者35人中アンケート提出者12人（男7人 女5人）

年 齢	30代	1	40代	1	50代	1	60代	6	70代	1	80代以上	2
(1) 議会報告会について												
①本日の議会報告会で一番関心を持ったテーマは何ですか。												
平成22年度決算報告	2	一般会計補正予算	1	小学校再編成	5	コミュニティバス運行	2	記入なし	2			
②説明時間について												
長かった	2	ちょうど良かった	5	短かった	0	記入なし	5					
③説明内容・資料について												
わかりやすかった	3	どちらとも言えない	5	わかりにくかった	0	記入なし	4					
④議会報告会の開催を何で知りましたか。												
議会だより	7	大字自治会の回覧	1	人から聞いた	2	記入なし	2					
(2) 今後の報告会について												
①一番参加しやすい曜日・時間帯はいつですか。												
土曜日	午前	1	日曜日	午前	1	平日	午前	0	夕方 (6時以降)	1	いつでもよい	1
	午後	2		午後	4		午後	0				
②議会報告会は年間、何回位開催が適当ですか。												
1回	2	2回	7	3回以上	1	記入なし	2					
③次回も、議会報告会に参加したいと思いますか。												
ぜひ参加したい	4	時間があれば参加したい	5	わからない	1	参加しない	0	記入なし	2			

町政を問う！一般質問一覧

山田 議員	1. 川原路線の拡幅について 2. 雇用確保と仕事の提供及び情報発信について	井戸 議員	1. 人口を増やすための政策その 1 2. テントを変えることが必要ではないか
植田 議員	1. 学童保育の充実について 2. 資源ゴミのステーション収集について 3. コミュニティバスの充実について 4. ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの助成制度の継続について	窪 議員	1. 「子どもの医療費無料化を小学校卒業までに拡充」と「子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の3種ワクチン」や「妊婦健診（14回分）」の公費助成を来年度以降も継続して子育て支援の充実を 2. 女性の視点を生かした防災対策について 3. コミュニティバス運行の利用しやすいダイヤ編成の改善について
戎井 議員	1. 普門院撤去の経緯と今後の対応について	高幣 議員	1. 現NCバス路線を昼間はコミバス運行について陸運局、NC社の見解は 2. 地震・土砂崩れ等の防災計画の充実への重要ポイントについて 3. 町の国際化と外国人ホームステイ宅への補助金の支給等について
繁田 議員	1. コミュニティバスの実証運行について 2. 樺原地域における農地造成について 3. 地域包括支援センターの体制の充実を	山口 議員	1. 住民福祉向上のためにさらなる経費節減を 2. 文化財保存行政の充実を 3. 聴覚障害者の社会参加促進のため役場窓口到手話通訳者の配置を
馬本 議員	1. 「野菊の里斎場」の休場日撤廃を 2. 土地開発公社の解散について		
奥田 議員	1. 平群駅周辺区画整理事業の進捗状況と仮換地について		
森田 議員	1. 住民の幸福度を高める施策について 2. 住民が安心して暮らせる消防体制について 3. 駅周事業による町税効果について		

質問

農業就労者の求人広告
掲示板の設置を提案しま
す。地域産業活性化の面
や雇用の確保、農業振興
施策からみても、有効な
方法のひとつと考える。
農家台帳記載の農家等
条件の上、主な作業内容、
時間、雇用人数、期間等
を明記し、庁舎内掲示板
への張り出しやインター
ネットによる情報提供を
行い、問い合わせや申し
込み者に住所、氏名等を



山田 仁樹

雇用確保と仕事の提供及び 情報発信について

答弁

他府県では、
議員提案の情

確認し、連絡先を伝える
という方法です。
農業経営者は繁忙期の
短期や人手不足による長
期の手伝い等、それぞれ
のニーズによる人材確保
が出来、農業活性化につ
ながっていくと考える。
若い主婦層
や高齢者層の
中には、農業
に従事したい
が、方法の分
からない方も
おられると思
う。住民も行
政からの提供
であり、安心
して就労がで
きと思うが
いかがか？

報提供だけでなく、農業
の無料職業紹介を行い、
斡旋までされている事例
もある。各農業団体の協
力も得ながら、前向きに
研究していきたい。



学童保育の充実について

質問

共働き家庭が増え、保育所は7時半まで保育があるが、小学校に上がれば学童は6時半までとなる。保育所と同じ時間まで延長すべきではないか。また学校休校日（夏休みなど）の開所時間は現在8時半となっているが、通常の登校時間は8時であり冬場など、寒い中30分も外で待たなければならぬ。開所時間の30分繰り上げなど、おこなうべきだとこれまでも

質問してきた。6月議会

会で保護者等

へのアンケート

トをおこない

ニーズを把握

して検討した

い旨の答弁が

ありました

が、時間延長

等に対しての

考えをお聞き

したい。

また、学童の一時保育

について調査・研究した

いとの答弁だったが、そ

答弁

の後の状況はどのように

なっているのか。

アンケートの結果を受

けて、基本的には来年度

当初から開所時間を午前

8時から繰り上げ、閉



延長する方向で検討して

いる。また延長・拡大に

伴う保育料の負担は考え

ていない。

一時保育については、

今しばらく調査・検討の

時間をいただきたい。

普門院撤去の経緯と今後の対応について

質問

- ① 法隆寺、地元大字と教育委員会の関わりについて
- ② 撤去にいたる経緯について
- ③ 法隆寺との交渉経緯について
- ④ 撤去後の今後の対応について

答弁

- ① 普門院は宗教法人であり、法隆寺の役員が代表者。但し、実態は地元の檀家5軒が役員を構成され、管理を担っておられた。教育委員会は、普門院の本尊、重要文化財の「木造聖観音立像」の管理体制を指導監督する立場である。
- ② 平成20年地元総代から防災防犯面から、老朽化した普門院の扱いについて相談を受け、文



化財保護委員会で検討し、解体やむなしの結論を得て法隆寺に依頼、今年10月に解体工事となった。

③ 略

④ 町文化財保護委員会、道詮忌献句会、平群町史蹟を守る会、平群町観光ボランティアガイドの会などの要望を収集して、道詮律師の具現的な顕彰を含めた本尊の拝観を、法隆寺へ働きかけていきたい。

コミュニティバスの 実証運行について



繁田 智子

質問

11月1日から、コミバス西山間ルートの延伸と中央循環ルートの実証運行が始まりました。住民の皆さんの関心も高く、反響もかなりあります。

①1カ月半の利用状況。

②中央循環ルートの右回り・左回りが分かりにくい。目的地への停留所が分からない。営業バスとの料金格差の是正を。といった声が聞かれます。こういった要望に対する対策は？

③アンケート

答弁

利用者は前年の同月（11月）に比べて、中央ルートで17%増、西山間で10%増である。



住民の方からは、電話や葉書また窓口で要望を聞いている。営業バスとの格差についても以前からの課題であると認識している。ご意見は現在記録して集積中で、次回の公共交通会議で検討し、改善していきたい。

アンケートは、調査員がバスに乗りヒアリングする形で行う。公共交通会議で評価、分析し次年度に活かしていく。

質問

「ご家族がお亡くなりになった場合、行政がしっかりと対応をすることが、住民に対する責務であると考えています。」

万一の場合に備え、どの時期に亡くなられても、対応することが出来る施設運営を町が行うことにより、ご遺族の方は、安心されるのではないかと。

「いざ」という時に必要不可欠で住民生活に直結する斎場施設について



馬本 隆夫

「野菊の里斎場」の

休場日撤廃を

は他の公共サービス同様、基本的に年中無休での対応が必要であり、また、休場日を廃止した場合に、必要とされる施設運営の費用についても、さほど大きな財政負担にはならないと考える。

野菊の里斎場の年末年始の利用拡充に向け、積極的に取り組まれる考えがあるのか。

答弁

住民の方の利便性をより一層図るため、近隣市町村の状況も確認する中で、



野菊の里斎場の年末年始の利用拡充に向けて取り組んで参りたい。



奥田 幸男

平群駅周辺区画整理事業の 進捗と仮換地

質問

日増しに工事の進捗が目につくようになってきたが、当初は立派な看板があつて、駅前には高層の建物が建設され、1階には店舗が貼りついて、広いロータリーの道路には、噴水のあるイメージ図でありました。

駅前から離れた保留地は売却出来ない危険性がある。減歩から生まれた道路、公園等の工事費用

答弁

は、町事業費、補助金、交付金のほか土地の売却金を当てられるが、どんな予定でいるのか。

保留地は直接事業費に影響を及ぼすので、慎重に場所等の換地計画を定めるよう組合との協議を進める。

精算時の売却金の坪単価は未定だが、事業認可時の基準単価は、坪当たり35万5千円とされている。

完成年度は平成29年度となっているが、本事業が1年延伸すると約



4千万円の事務局経費が必要である。旧南都銀行から駅前ロータリーまでの道路は幅員6m道路として拡幅され、平成24年3月完成予定である。交通安全には充分注意をする。



森田 勝

駅周事業による 町税効果について

質問

駅周事業は平成29年度中の完成に向けて、土地区画整理組合の責任で進められており、現在道路や公共下水道工事等が施工されている。平成21年の住民説明会資料によると完成予想図には立派な建物が描かれて

るが、現在住宅8、9棟が建設中で、計画中の建物も精々3階建で、余りにもギャップが大きい。また、平成22年度から税収効果が記載されているが、何時から、町税効果が表れるのか。

そして、町が組合に債務保証しており、また保留地処分金7億9千8万円を計上しているのので、財政シミュレーションの見直しが必要では。

答弁

①地権者が建物を建てるので町や組合も関与できない。②税収効果は平成25年度から表れる。③固定資産税は1月1日の所有者に課税され、土地は換地によって減歩後の面積で見なし課税される。また減歩による供出土地は、誰からも課税できない。④全ての換地完了時点で財政シミュレーションの見直しを行う。



人口を増やすための政策

その1



井戸 太郎

質問

平群町内の新興住宅地と呼ばれる地域において、多くの土地が、建ぺい率40%、容積率60%となっている。これでは規制が厳しいのではないかと考えるが、少し緩和するのはいかがか。

土地の規制が厳しいという理由で、二世帯住宅を建てて平群に住むことをあきらめた方や、増築をできない方がおられる。

これからの時代、介護、

若手の世代の労働と子育ての両

立などを考えると、親子で互いに同居を必要として

いる方が増えると考え

る。人口増加のためには、このよ

うな平群に住もうと考

えている方々が平群に住めるように、土

地を幅広く活用ができるような

規制にして、



答弁

ニーズにも応えていく必要があるのではない

基本的には、今の段階では、そのような計画はない。

今後、地域住民の方々から、強い要望があれば、アンケート調査などを含めて取り組んでいきたい。

子ども医療費の拡充等で 子育て支援の充実を



窪 和子

質問

少子高齢化が急速に進み、人口減少は平群町にとっても喫緊の課題です。そのため特に子育て支援に最優先で取り組むべきと、今日まで何度も議会でも質問してきまし

た。

今議会では「安心して子どもを産み育てられる環境づくりを求める請願書」が3041名の賛同署名を添え提出されました。

答弁

3000名を超える署名は、大変重く受け止めなければなら

ない。厳しい財政状況の中であるが、「子

ども医療費無料化の拡充」

請願でも子育て家庭の経済的負担を軽減するた

め、「子ども医療費無料化を小学校卒業までに拡

充」や、「子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンや妊婦健診（14回

分の公費助成の継続」を求めている。

町長はこの請願をどのよう

に受け止めて

いますか。

について予算編成の中で

少しでも踏み出すことが

できないか検討して参りたい。窓口無料化も県に

強く要請したい。

ワクチン接種等は来年度も同様に継続実施できるようにしたい。





高幣 幸生

地震・土砂崩れ等を

防災計画のポイントに

質問

地震防災対策アクションプラン」は平成13年来の「地域防災計画」改訂です。東日本大震災を考察し、次の点にも力点を。①地震は町の歴史等の文

④集会所の毛布等と備蓄品にも力点を置く。23年度で不足ならば24年も検討して欲しい。

答弁

町民の命を守る地震防災対策、避難所運営の手引等の策定です。

災害発生時の応急対策を災害別対策に作成。また被災した各施設の原形復旧、再度の災害発生を防止するため必要な施設の新設、改良を行い、将来の災害に備えた策定です。町として①建築物の耐震化促進②男女共同参画の視点で

防災体制の確立③復興計画の充実④災害弱者対策を重点ポイントとします。さらに過去の地震・風水害の事例や文献も重要と考えます。



山口 昌亮

文化財保存行政の充実を

質問

史跡の発掘調査など系統的に実施する予算150万円が昨年までの5年間、未執行のまま。この予算は国が半分、県が4分の1を負担するもの。まったく執行しないのは行政の怠慢。

また、文化財の保存と新たな歴史的史実を明らかにしていくには、これまでの成果を継承していく体制が必要。この分野を担う若い専門職を一刻も早く配置すべきではないか。

11月に福貴の普門院が解体・撤去された。この機会に9世紀に法隆寺中興の高僧・道詮律師が創建した福貴寺の遺構を調査してはどうか。



答弁

国庫補助事業の未実施については今後、文化財保護行政全般のなかで、当該事業のあり方も積極的に検討したいと考えています。また、文化財保護行政を継承し担っていく専門職員の配置は必要と考えています。ただ、現在の財政状況から複数の専門職員を配置するのは困難な状況。普門院跡の発掘調査も直ちに行う必要性はないと認識しています。

町の話 題

しゃちがわら
鯨瓦 4体でも心は一つ



国宝・姫路城は現在、平成の大修理が行われていますが、天守閣を守る鯨瓦が、平群町榎原（しではら）の山本瓦工業で製作されています。指揮をとるのは同社会長の山本清一さん（79）。榎原のご出身で、15歳で屋根瓦の見習いに入り、20歳で井上新太郎師の門をたたき、文化財の修業を積まれました。平成6年には、瓦葺き部門で初めて文部大臣より、選定保存技術保持者の選定を受けられた、いわば職人における「人間国宝」です。

今まで手掛けた瓦は東大寺大仏殿、唐招提寺、平城宮跡大極殿等々数知れず。「瓦は、焼くだけ、葺くだけでは駄目」と、瓦製造と葺き上げが一体となった技術を後世に伝えるべく、後継者育成にも余念がありません。そんなベテランでも「瓦がうまく焼きあがる確率は10%」だそうです。姫路城の鯨は本来1対（2体）ですが、工場では8人の職人さんが2人1チームとなって4体製造されています。出来の良い2体が飾られるということですが「鯨は4体でも心は一つ」と山本さん。今春、大天守に鯨がそびえるのが今から楽しみです。

生駒郡町村議会議員研修会

「地方分権時代の地方議会のあり方」と題して

講師 山梨学院大学法学部教授 江藤 俊昭

1月17日、平群町商工会館で、地域政治学の分野で有名な江藤俊昭教授を迎え生駒郡町村議会議員研修会が開催さ

れました。地方分権改革の進展に伴い、住民の意思を体现する地方議会の役割と責任はますます重

要となり、住民に開かれた住民参加の促進と監視機能・政策形成機能の向上などが求められています。研修会では、議会改革の目的や現在求められている地方議会のあるべき姿を再確認する契機となり、有意義な研修

（議会運営委員長

窪 和子）



編集後記

最近エンディングノートというのがあらしい。人生の最終局面にあたっての、自分の意志を心身に正常なうちに書き残しておいて、家族や周りの人たちへの迷惑や困惑を少しでも軽くして、自身の主張もとりいれてもらおう、そんなことらしい。

70歳の誕生日に、それほど大きなことでなく、なにか書き残しておこうかと、一旦ペンをとったのだが、少し早いかと、勝手に判断して、45年吸っていたタバコをやめた。

以来5年余、どうせ肺は既に真っ黒で、何の効果もないだろうに、太り過ぎのリアクションだけはしっかり残った。今度、は本当にエンディングノート記入が必要かもしれない。

戎井 記